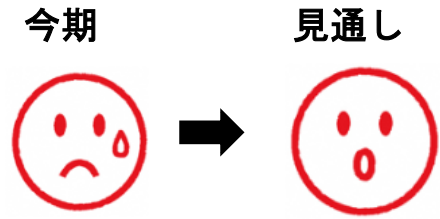


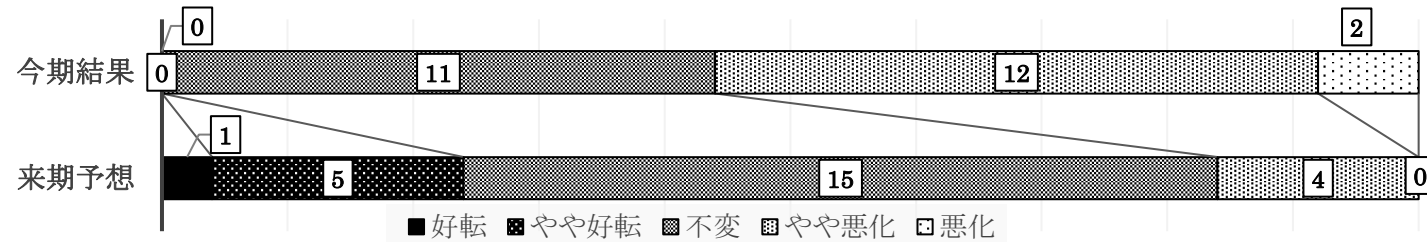
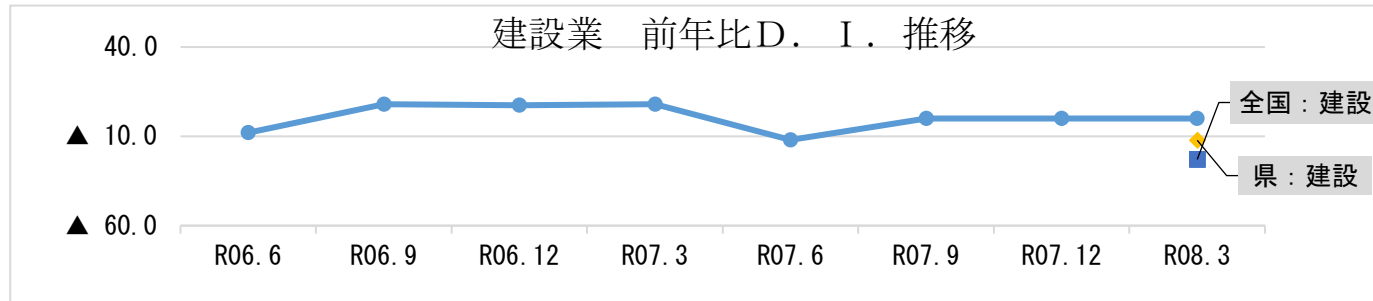
# 建設業

回答率：100% (25/25)



## ■丹波市の景況推移

前期まで横ばいで推移していたが、1~3月期はやや悪化。資材・燃料価格の高騰や人手不足が続き、材料不足や納期遅延の影響から、利益確保が難しい状況となっている。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

公共工事や一部大型案件により仕事量は確保されているものの、資材・燃料価格の上昇が収益を圧迫している。特に水回り資材や塩ビパイプなどの入手が困難との声もあり、工期遅延への懸念が強まっている。加えて、慢性的な人手不足や職人不足が続いており、全体としては厳しい経営環境が続いている。

### 【丹波市の来期の景況予想】

新築需要の大幅な回復は見込みにくく、資材価格や燃料費の高止まりも続くと見られる。人手不足も解消の兆しは弱く、受注はあっても対応しきれない状況が懸念される。一方で、設備更新やリフォーム需要は一定数見込まれており、価格転嫁や業務効率化への対応が今後の経営課題となる見通し。

## ■全国の景気動向

全国では公共工事や災害復旧関連需要に支えられる一方、資材価格や燃料費の高騰、人手不足が引き続き課題となっている。中東情勢の影響による原材料価格上昇も重なり、収益環境は厳しい。受注は一定程度あるものの、工期遅延や価格転嫁の難しさから、先行きには慎重な見方が広がっている。

## ■県下の景気動向

兵庫県内でも建設資材価格の高止まりや人件費上昇の影響が続いている。特に住宅関連では新築需要の減少が見られ、利益確保が難しい状況。設備工事やリフォーム関連は一定の需要があるものの、人手不足や資材調達難が経営上の大きな課題となっており、景況感は依然として厳しい状況が続いている。

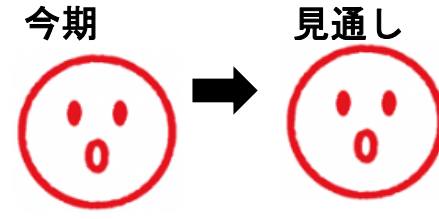
## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
不変	1	5	0	2	1	2	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	2	7	1	2	2	0	14	56.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

# 製造業

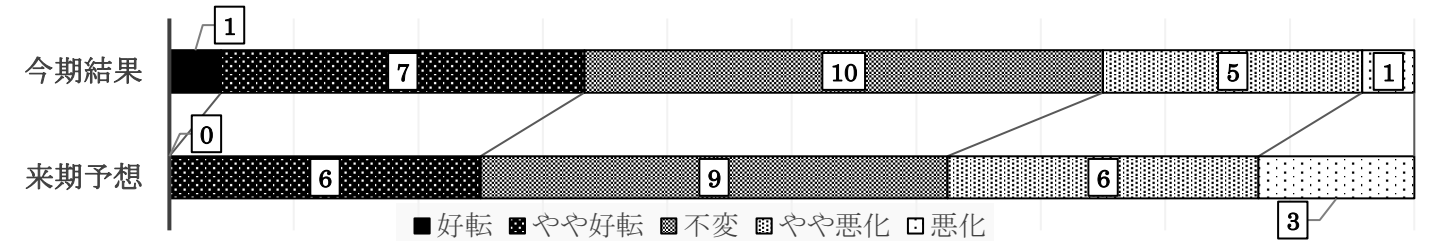
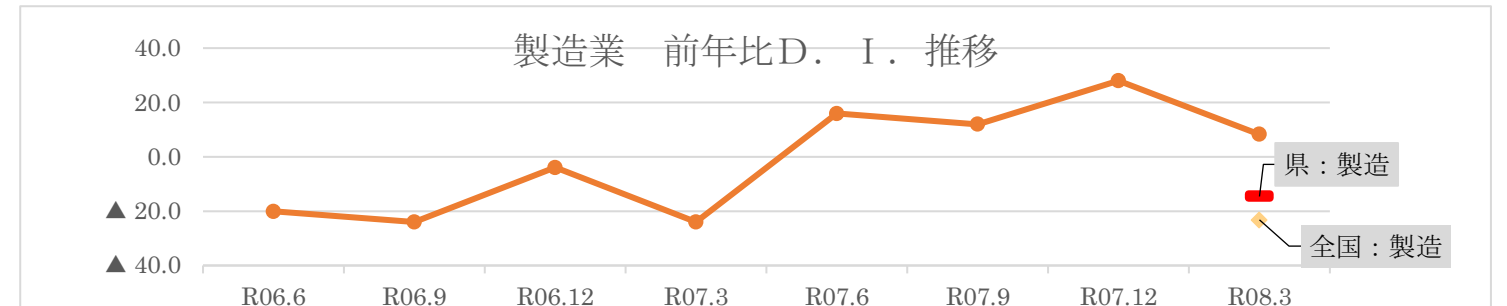
回答率：100% (24/25)

2026年1月~3月期調査



## ■丹波市の景況推移

今期の製造業における業況DIは前回調査より悪化し、売上額DI・収益DIともに大きく低下している。一部価格転嫁の協議が進んでいるものの、原材料やエネルギー費の高騰が収益を圧迫し、期を通じて利益確保が困難な状況が続いている。中東情勢悪化による石油関連資材の高騰と供給不安も重なっており、先行きは依然として予断を許さない状況である



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

中東情勢の影響で、プラスチック製品や包装フィルム等の石油関連材料において単価の著しい高騰や入荷懸念が生じている。また、調達先変更に伴う加工工程の変更を余儀なくされるケースもあり、調達難とコスト増が経営の重荷となっている。

### 【丹波市の来期の景況予想】

来期もプラスチック容器等の材料費が1.5倍になる見込みがあるなど、原材料高と供給制限は継続する予想である。先行きの資材枯渇を見越した数ヶ月分のまとめ発注もみられるが、価格転嫁がコスト増に追いつかないリスクが強く懸念される。人手不足や人材育成の課題も重なり、非常に慎重な経営姿勢が求められる厳しい見通しである。

## ■全国の景気動向

製造業は売上額DIがわずかに低下し、採算・資金繰り・業況DIは大幅に低下した。中東情勢悪化に伴うナフサ等石油関連製品の価格高騰や調達難が、生産活動の大きな制約となっている。エネルギーや原材料のコスト増に加え、最低賃金引上げによる労務費増が価格転嫁分を上回っており、多くの企業が収益確保に苦戦している。

## ■県下の景気動向

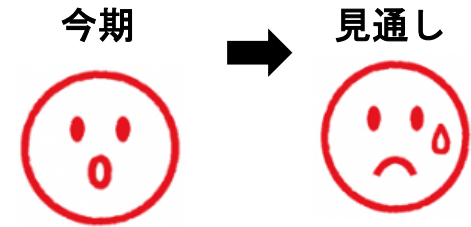
調査地域の製造業は、今期の業況DIが前回比で悪化し、売上額・収益DIも大きく低下した。原材料等の仕入価格上昇が経営上の最大の問題となっており、一進一退の厳しい環境が続いている。次期の業況DIは小幅改善を見込むものの、売上額・収益DIは引き続き悪化の見通しであり、本格的な回復には至らない状況である。

## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	3	0	1	1	2	8	33.3%
不変	1	3	2	2	1	1	10	41.7%
悪い (悪化+やや悪化)	0	2	3	0	1	0	6	25.0%
合計	2	8	5	3	3	3	24	100.0%

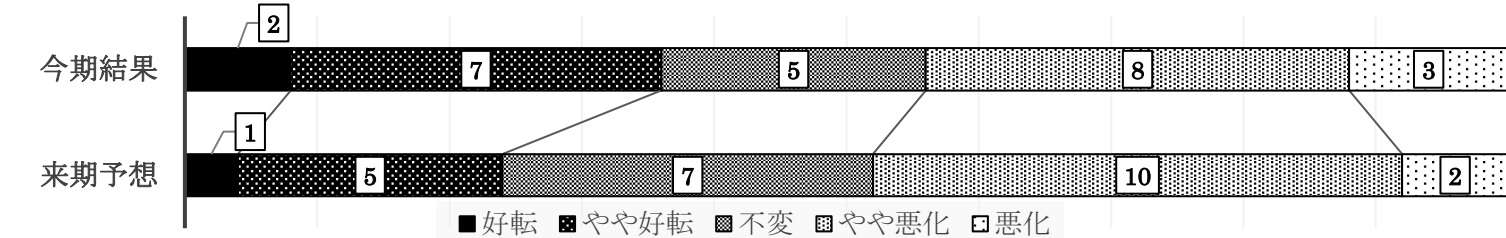
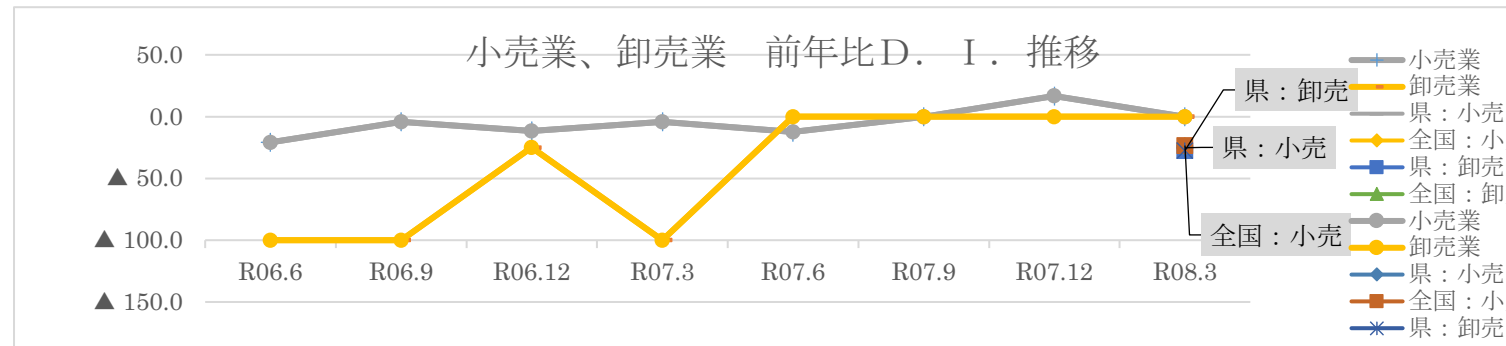
# 小売、卸売業

回答率：100% (25/25)



## ■丹波市の景況推移

丹波市の小売・卸売業は、原材料費や燃料価格の高騰、資材供給不安の影響を受け厳しい状況が続いている。価格転嫁は進むものの、節約志向による需要低迷もみられ、来期も慎重な景況推移が予想される。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

原材料費や包装資材、燃料価格の高騰に加え、中東情勢の影響による仕入れ不安が広がり、厳しい状況が続いている。価格転嫁は進むものの、物価高による節約志向から客数減少がみられ、利益確保に苦慮する事業者が多い。燃料小売や二輪車販売では需要低迷もみられ、全体として景況感は弱含みで推移している。

### 【丹波市の来期の景況予想】

来期についても、原材料やエネルギー価格の高止まり、資材供給不安の継続が懸念され、厳しい経営環境が続く見込みである。価格転嫁には限界があり、消費者の節約志向も続くことから、収益確保は引き続き課題となる。一方で、新たな消費動向への対応や差別化による需要獲得への期待もあるが、全体としては慎重な見通しとなっている。

## ■全国の景気動向

売上額DIは上昇した反面、採算DIは低下し価格転嫁が進まない状況である。衣料品・食料品関連は商品値上げにより売上額は上昇したが、仕入価格の上昇に吸収され採算は悪化。耐久消費財関連では消費者の買い控えによる販売数の伸び悩みが見受けられる。

## ■県下の景気動向

食料品・耐久消費財に加え、衣料品も物価高騰による買い控えの影響を強く受けている。特に衣料品は入学・卒業シーズンにもかかわらず売上が減少し、採算・資金繰りともに悪化。次期予想の業況では、業況DI・売上額DI・収益DI全てにおいて増加する見込みであるが、依然として業況DIはマイナス圏である。

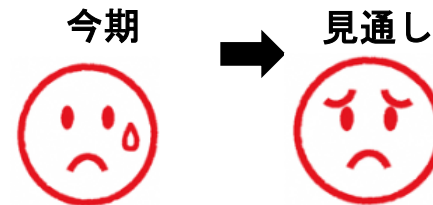
## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	5	0	2	1	1	9	36.0%
不変	3	1	0	0	0	1	5	20.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	3	0	3	2	0	11	44.0%
合計	6	9	0	5	3	2	25	100.0%

# 飲食・宿泊、サービス、その他業種

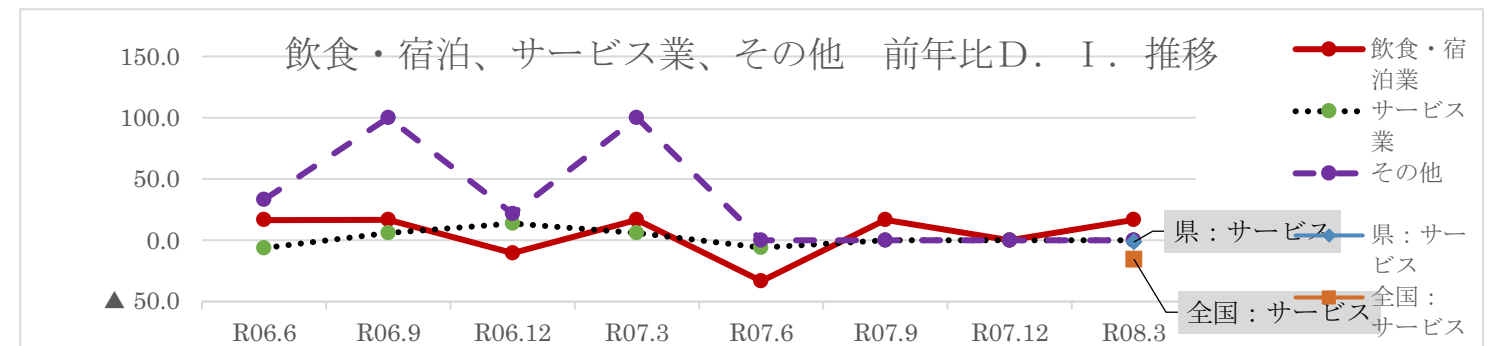
回答率：100% (25/25)

2026年1月～3月期調査



## ■丹波市の景況推移

景気は、少し回復しても再び悪化してしまう状況が続いている。物の仕入れ価格が大幅に値上がりし、一部の資材では品不足も起きている。仕入れコストが上がっても、サービスや商品の価格に転嫁(値上げ)することができない状況である。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

コスト高騰と需要縮小の板挟みにより非常に厳しい状況にある。飲食業では原材料費・仕入商品の高騰で原価率が上がり、前年に引き続き赤字になる。「原材料・仕入価格上昇」と「売上の停滞・減少」が挙げられており、価格転嫁が難しい中で経費負担の増加が経営を圧迫している状況となっている。

### 【丹波市の来期の景況予想】

売上・収益ともに大幅な改善の予想を維持する声が多くなりそうである。「経費節減」を最優先としつつ、「人材育成」や「販売促進・販路拡大」を掲げて、コストを抑えながら積極的な展開によって業績を回復させようとする姿勢がうかがえる。

## ■全国の景気動向

全国景気は、中東情勢による原油・原材料高騰により大きく悪化している。燃料や物流費の上昇が全産業に波及し、価格転嫁が進まない状況である。宿泊業では春休み需要などから回復傾向ではあるが、人手不足や需要の弱さも重なり、高まる不確実性のなかで弱含みの推移となっている。

## ■県下の景気動向

県下でも全国同様に大きく落ち込んでいる。中東情勢による燃料代の高騰に加え、現場からは自動車用オイルや建築資材、食品の包装資材などで深刻な品不足が起きるといった事態である。仕入れコストが急騰しているなか、客離れへの不安や取引先との交渉の難しさから値上げができず苦しい状況である。

## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	2	2	2	0	0	6	24.0%
不変	2	6	1	1	1	1	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	1	1	1	1	0	7	28.0%
合計	5	9	4	4	2	1	25	100.0%